

山北小学校  
山北小学校だより

# 山北っ子

R4. 3. 1  
第7号

文責  
高田みゆき

## GIGAスクール構想

GIGAスクール構想にかかわり、朝自習にタブレットのアプリを使ってドリル学習をしたり、授業中に教師と児童が双方向のデータのやりとりを行ったりと、タブレットを活用した学習の機会が大幅に増えました。一年生も、巧みに操作しています。

児童が、少しでも学習に取り組みやすいように、児童用の机を広げる器具を導入していたいただきました。児童机の先端に取り付けることで、机の面積が三割ほど広くなります。また、器具の端の部分が1cmほど壁になっているので、タブレットや文房具がずれ落ちてしまうことはありません。

今後、タブレットは、授業やインターネット（以下「ネット」）を使った調べ学習等、児童にとって身近なものになっていくことでしょう。また、家庭でもタブレットや携帯、ゲーム機等を通して、「ネット」とつながる機会が増えています。



ただ、「ネット」をめぐるのは、不適切なサイトへのアクセス、SNSを使いたいじめやトラブルなどの問題に加え、オンラインゲームや動画配信サイトの閲覧を長時間することで、学業や仕事、健康面への悪影響も心配されています。いわゆる「ネット依存」「ゲーム障害」と呼ばれる問題です。十二月に行ったPTA研修会でも、この問題についての講演を行いました。

ただし、この問題はネットの利用やゲームの使用を制限するだけで解決する問題ではなく、児童のネット活用のスキルを磨いていく必要があります。

また、ネット依存やゲーム障害に陥る児童生徒の多くは、日常生活で自己有用感や充足感が得られていない背景があります。逆に言えば、「自分でやりたいこと」「充実感のある生活」があれば、ネットやゲームを息抜きや気分転換ですることはあっても、「依存症」や「障害」にまで陥ることはありません。つまり、「どんな自分になりたいか具体的な目標を持つこと」が重要です。ネットによるいじめやトラブル回避のためには、日常のコミュニケーション能力や表現力の育成が大切だとも言われています。

タブレットを楽しそうに使っている児童を見ながら、私たち大人がネットの危険性や正しい使い方をしっかり学ぶと共に、これまで行ってきた教育を丁寧に行うことが必要だと感じています。



## 台湾「新市小学校」との交流

今年度、山北小・木葉小の六年生、玉東中の一年生は、台湾の「新市小学校」の六年生と交流しています。二年前までは、六年生が台湾を訪れていましたが、新型コロナウイルス感染症のため、台湾訪問は中止となりました。そこで、今年度は、インターネットを通じた交流を行う事となりました。これまでに、メールでのやりとりや、学校・地域紹介ビデオの交換等を行っています。

二月二十二日は、オンラインでの交流会を開きました。それぞれの学校の挨拶の後、班に分かれて、交流を行いました。児童は、タブレットを使い、英語でお互いの紹介をしたり、情報交換したりと楽しそうでした。



### 児童の感想より

- ・英語で話す台湾の人と交流できてよかった。台湾の人が、英語が上手だったので自分も英語の勉強をがんばらないといけないと思った。
- ・考えや面白いと思うことはほとんど同じだと思った。
- ・コロナでも、交流で楽しく話したり学校の紹介ができて良かった。
- ・使っている言葉は違うけど、つながることができるとわかった。